

# DATE NOSHIRO AIRPORT

大館能代空港 1998 OPEN



## 開港にらみ 8月1日発足 『空港利活用研究会』

十年十月に開港予定の大館能代空港。建設工事も一部スタートしました。大館能代空港建設促進期成同盟会は、開港後の航空需要の拡大と具体的な利活用策を研究するため、八月一日に「大館能代空港利活用研究会」を発足させるとともに、同日、第一回研究会を鷹巣阿仁広域交流センターで開催しました。

昭和六十二年、県北十八市町村で結成した大館能代空港建設促進期成同盟会は、県北地域の高速交通体系の確立を図るとともに、全国一日交通圏への参入を目指して、街頭署名運動をはじめ、度重なる陳情、数回に及ぶ総決起集会、そしてフライト預金の募集など、地域の皆さんと一体となって空港の誘致運動を強力に展開してきました。そうした行動が実を結び、建設地は鷹巣町(大野台中屋敷付近)に決定。十年十月には開港できる見通しとなりました。

しかし、開港後の利活用をどうしていくかということには、これまでほとんど手つかずの状態でした。そこで、フライト農業や企業誘致、観光開発など、今後、空港を地域の中核施設として圏域全体が発展できるような、具体的活用策を研究しようということで「大館能代空港利活用研究会」を発足



させたわけです。

研究会のメンバーは、農林漁業、商工業、観光の分野で県北十八市町村の団体等から推薦された皆さんで、それぞれ「農林漁業研究部会」、「商工業研究部会」、「観光研究部会」の三部会いずれかに入っています(部会約二十人で構成)。各メンバーが各地区で実践してき